

満州事変とファシズムの進展

*1 中国関係の軍人外交官らを集めて東方会議を開催、軍事力を用いても「満蒙」の権益を守るという方針を定めます。

*2 ロンドン軍縮会議の調印に対し天皇の権限を侵した「統帥権干犯」であるとの攻撃が起こりました。

*3 ②の死後、子の張学良は国民政府に合流、日本のもつ権益の回収をめざしていました。

*4 関東軍が支配する傀儡国家で、執政の溥儀は清朝最後の皇帝でした。

*5 このころ、軍部や右翼が、軍部中心の強力な国家を作ろうとする国家改造計画を唱え、テロやクーデター計画が横行するようになっていました。

*6 昭和天皇は彼らを反乱軍として鎮圧せよと支持、首謀者は死刑になりました。

*7 陸軍主流派の統制派はさらに強硬な要求をつきつけ、軍部大臣現役武官制なども復活します。

●1927年に成立した①_____政友会内閣は、中国における日本の権益を守り通す方向を決定*1、山東出兵などで対立がすすみました。

関東軍は、日本の支援を受けていた軍閥の②_____を列車ごと爆破して殺害する事件を起こしました。

●1929年に成立した③_____立憲民政党内閣のもと、幣原協調外交が復活しますが、反対する動きも強まり*2、首相が狙撃され、総辞職に追い込まれます。

●1931年9月18日、関東軍は奉天郊外の④_____で、爆破事件を起こし、満鉄が攻撃されたとして満州を軍事的に制圧する⑤_____を引き起こしました。*3

●国際連盟は、⑥_____調査団を派遣します。この報告が出る前に、関東軍は溥儀を執政にする⑦_____国の建国を宣言させます。*4

●建国に否定的であった当時の⑧_____首相は1932年5月海軍軍人らによって暗殺され(⑨_____事件)、政党内閣は終了します。*5
後を継いだ斎藤実内閣は、⑦国を国家として認める、日満議定書を結びます。

●⑥調査団報告書にもとづく対日勧告案が出ると、日本は松岡洋右外務大臣のもと、⑩_____を脱退しました。

●1931年、⑧内閣の大蔵大臣⑪_____は、政府が通貨量をコントロールする管理通貨制度を導入、軍事費の大幅な増加など積極財政に踏み切り、1933年、日本は主要国に先がけて、恐慌から脱出します。

●1936年2月、陸軍急進派の皇道派は軍事政権樹立をめざし首相官邸などを占拠、⑪大蔵大臣や斎藤実内大臣を殺害する⑫_____事件を起こしました。*6

●この事件ののち、陸軍はいっそう強硬な要求を政府に突きつけるようになります。*7

参照：旺文社「教科書よりもやさしい日本史ノート」

